

技能実習：号実習計画書

【技能実習1号実習期間】 2016年 8月 1E ~ 2016年 8月 1E

【技能実習1号実習種別】 職種名: 電子機器組立て
 作業名: 電子機器組立て作業

【技能実習生人数】 人数計: 名
 うち 技能実習生: 名
 研修生: 名

【研修目標】 目標:
 時期:
 研修方法:

【実習実施機関】 名称: 株式会社
 責任者:
 (役職):

【実習実施場所】 名称: 株式会社
 所在地:

出力 登録 印刷

技能実習：号実習計画書

技能実習計画 (使用する器材等一覧表)

技能実習科目	品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1. ○実習1		100	100										
2. ○実習2		80	80	80	80	80	80	80	80				
3. ○実習3		80	80	80	80	80	80	80					
4. △実習1								150	150	150			
5. △実習2											150	150	
	計	260									150	150	

計算 差

印刷用指定印刷用紙 会計帳簿

出力 登録 印刷

技能実習：号実習計画書

技能実習計画 (使用する器材等一覧表)

使用する器材 (材料)

使用する器材
 数量、単位、基準

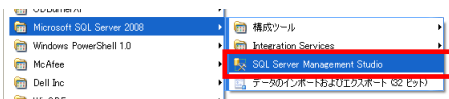
製品の量

設備等

出力 登録 印刷

Excel
DB

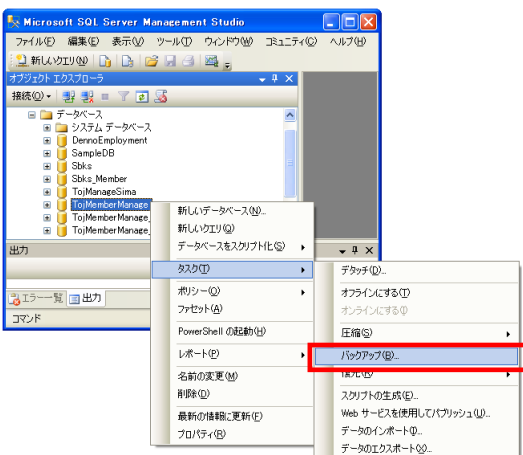
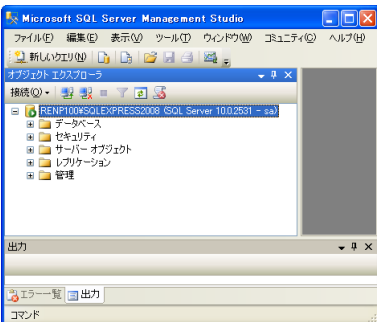
SQL Server

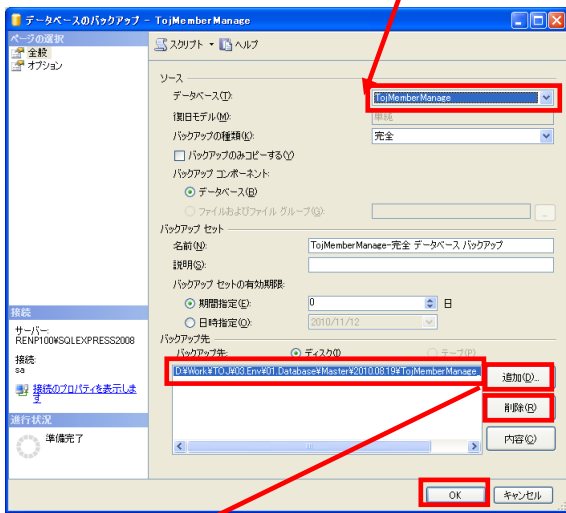


SQL Server Management Studio

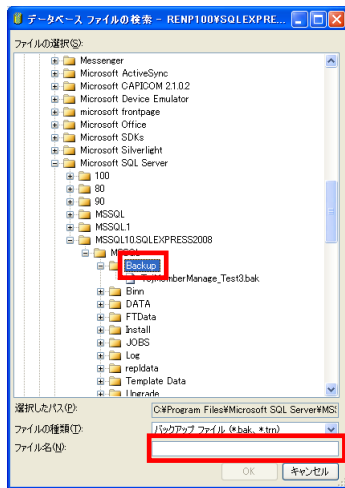
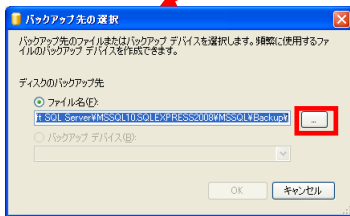
DB

SQL Server

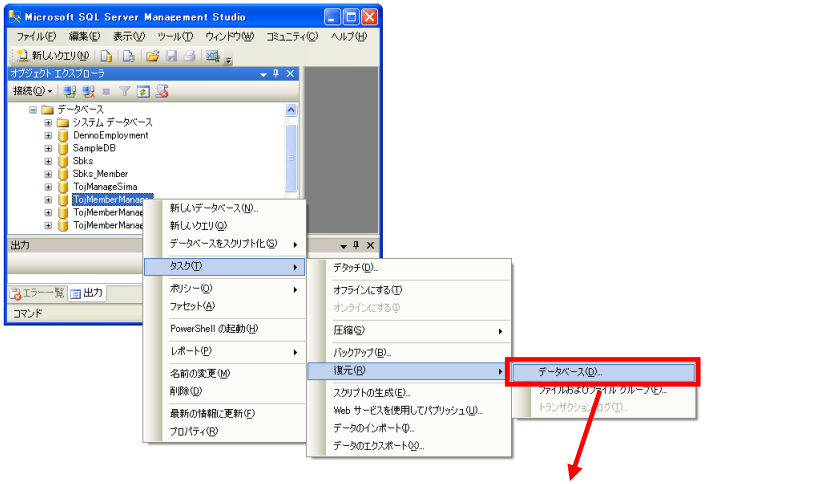




OK

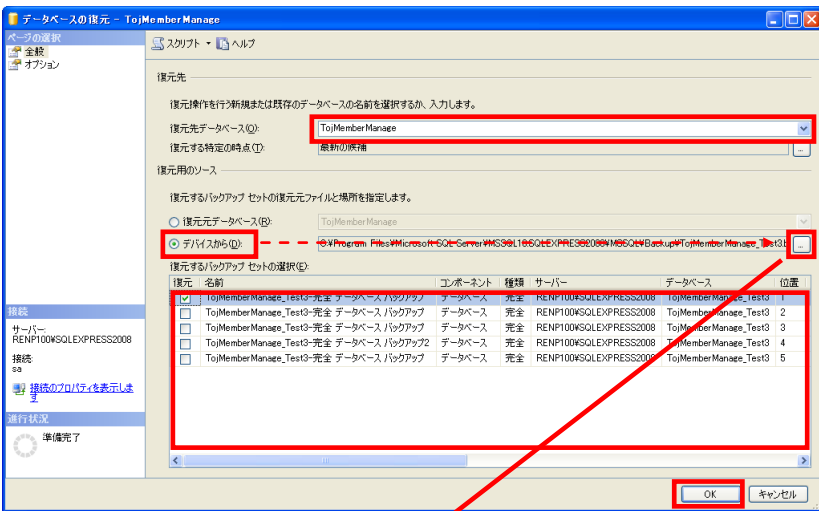


()

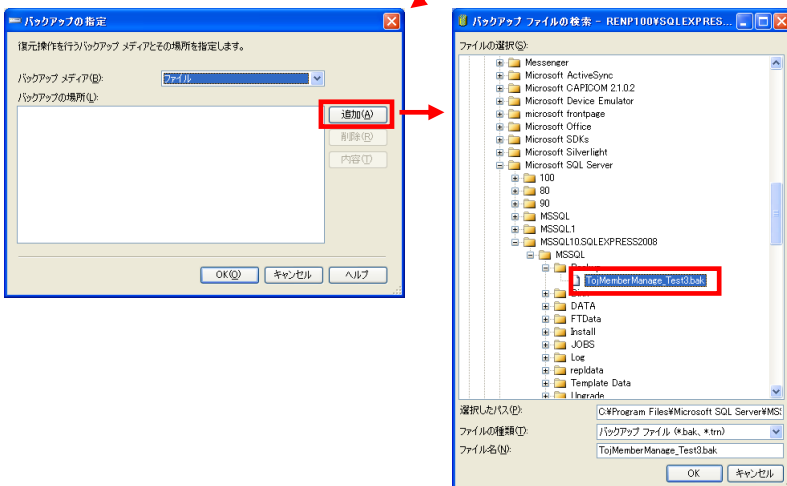


SQL Server Management Studio

(6.1)



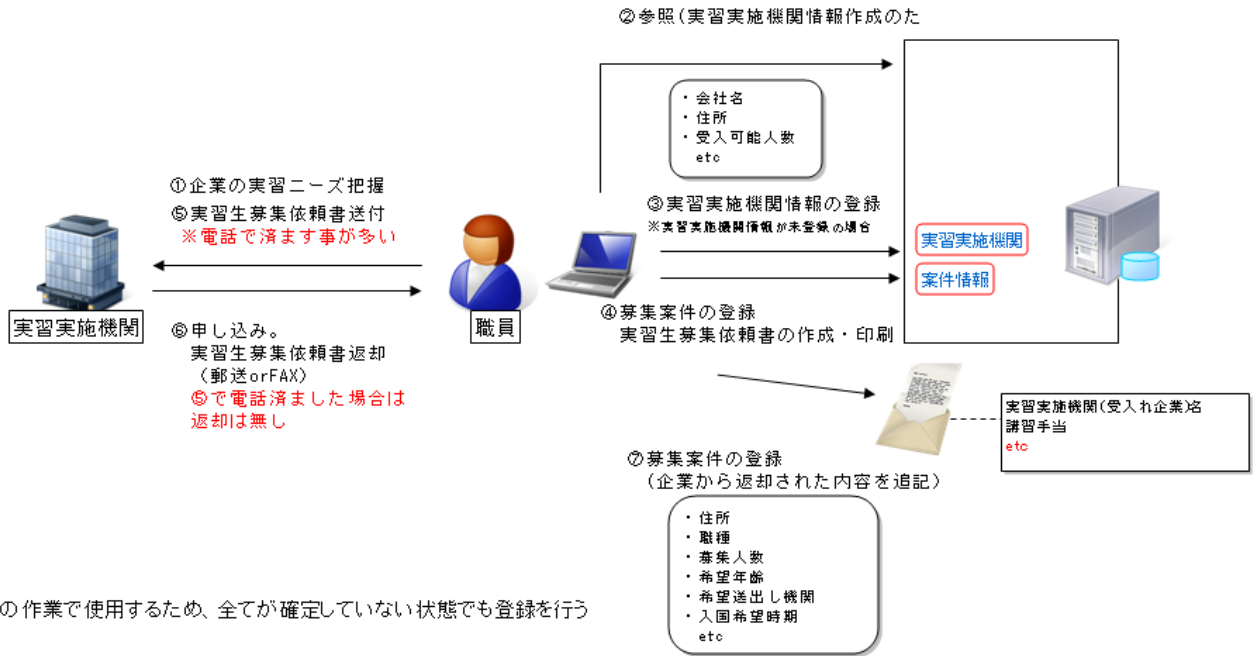
OK



1. 入国前の作業

(1) 実習実施機関の案件登録

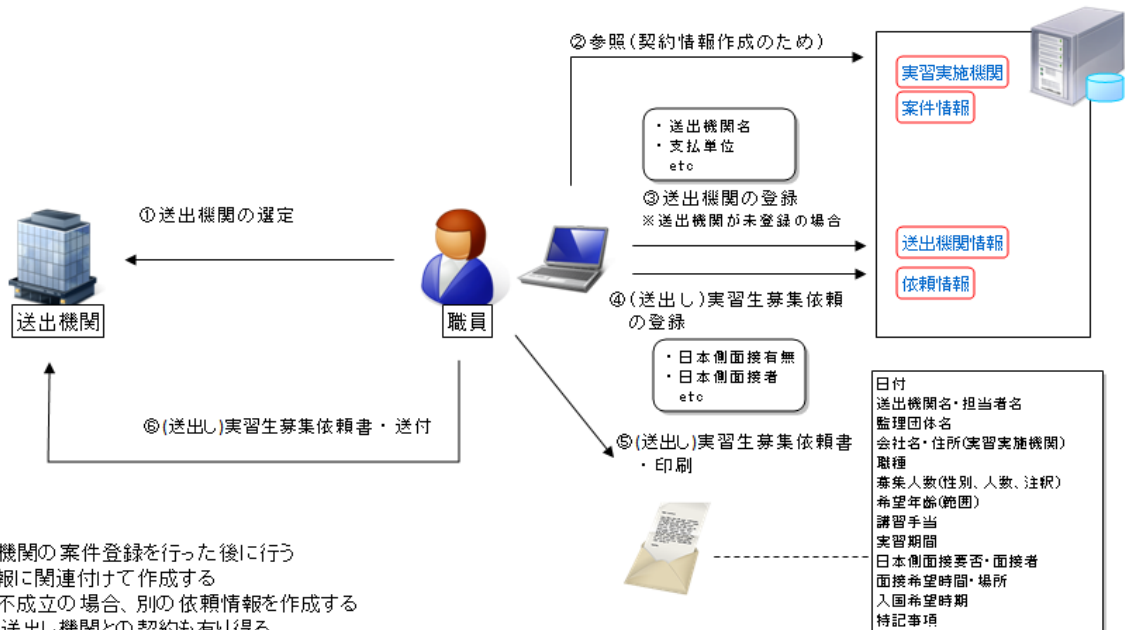
実習実施機関情報に対して、募集案件を登録する



募集案件は、以後の作業で使用するため、全てが確定していない状態でも登録を行う

(2) 送出機関への実習生募集依頼

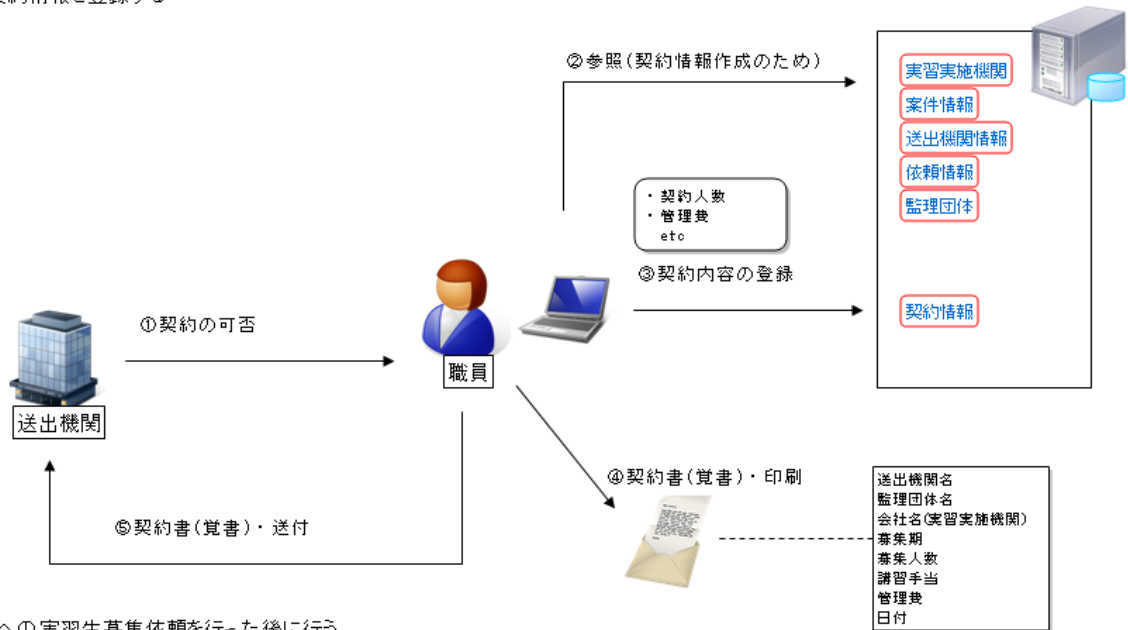
送出機関に対して、依頼情報を登録する
依頼情報には、案件情報を関連付ける



事前に、(1) 実習実施機関の案件登録を行った後に行う
依頼情報は、案件情報に関連付けて作成する
送出機関との契約が不成立の場合、別の依頼情報を作成する
1 案件に対し、複数の送出し機関との契約も有り得る

(3) 送出機関との契約

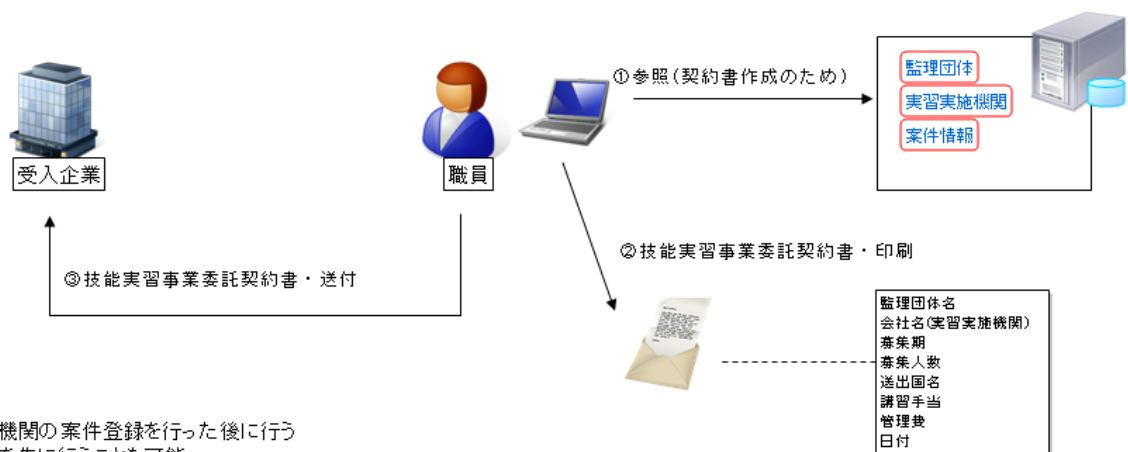
依頼情報に対して、契約情報を登録する



事前に、(2)送出機関への実習生募集依頼を行った後に行う
 (4)実習実施機関との契約を先に行うことも可能

(4) 実習実施機関との契約

(1)実習実施機関の案件登録で登録した、案件情報と実習実施機関情報を元に技能実習事業委託契約書を印刷する



事前に、(1)実習実施機関の案件登録を行った後に行う
 (3)送出機関との契約を先に行うことも可能

契約書作成時に、人数が決まっていなかった場合がある。
 (その場合は、人数の欄は空白)

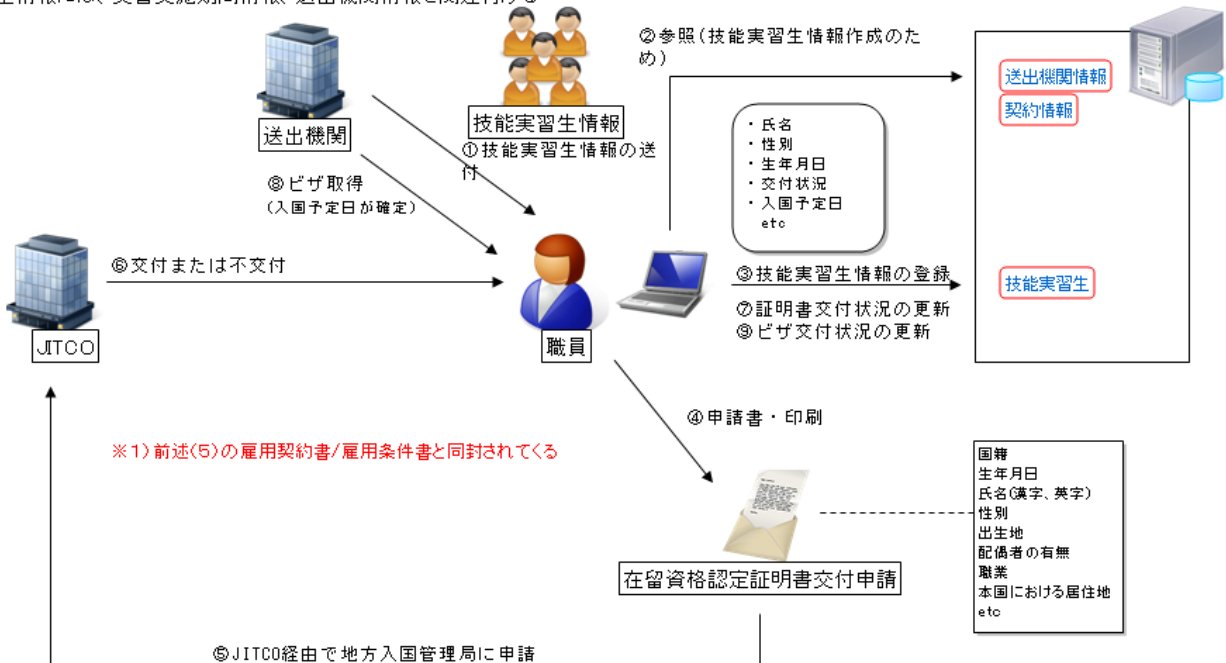
(5)申請書の作成(技能実習生データ作成)

契約情報に対して、技能実習生情報を登録する
 技能実習生情報には、実習実施期間情報、送出機関情報を関連付ける



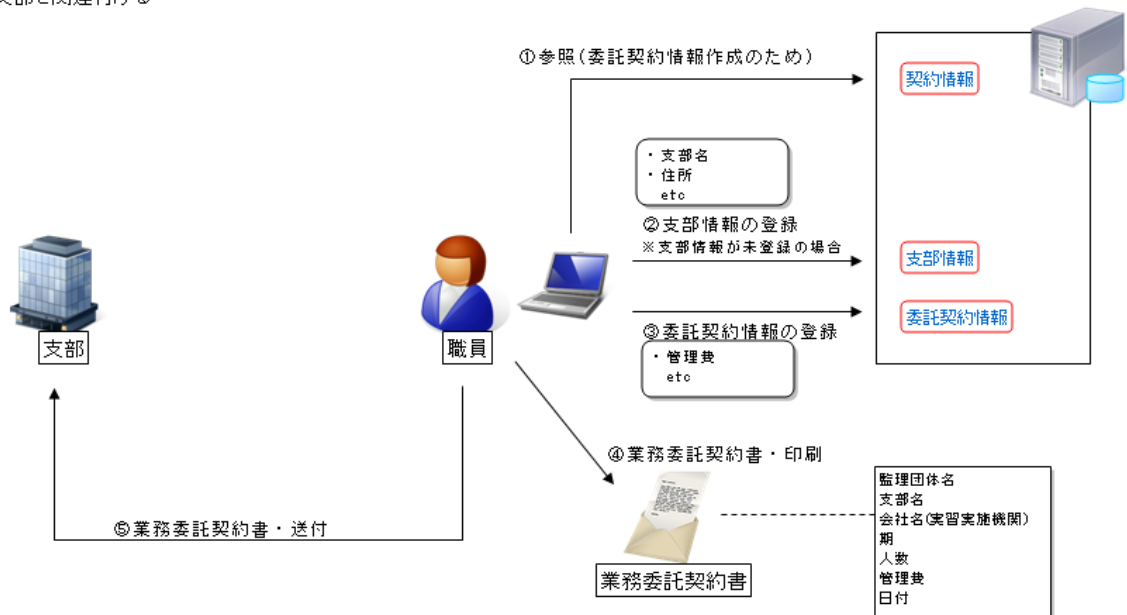
(5-2)申請書の作成(技能実習生データ作成)

契約情報に対して、技能実習生情報を登録する
 技能実習生情報には、実習実施期間情報、送出機関情報を関連付ける



(6)業務委託契約書(支部との契約)の作成

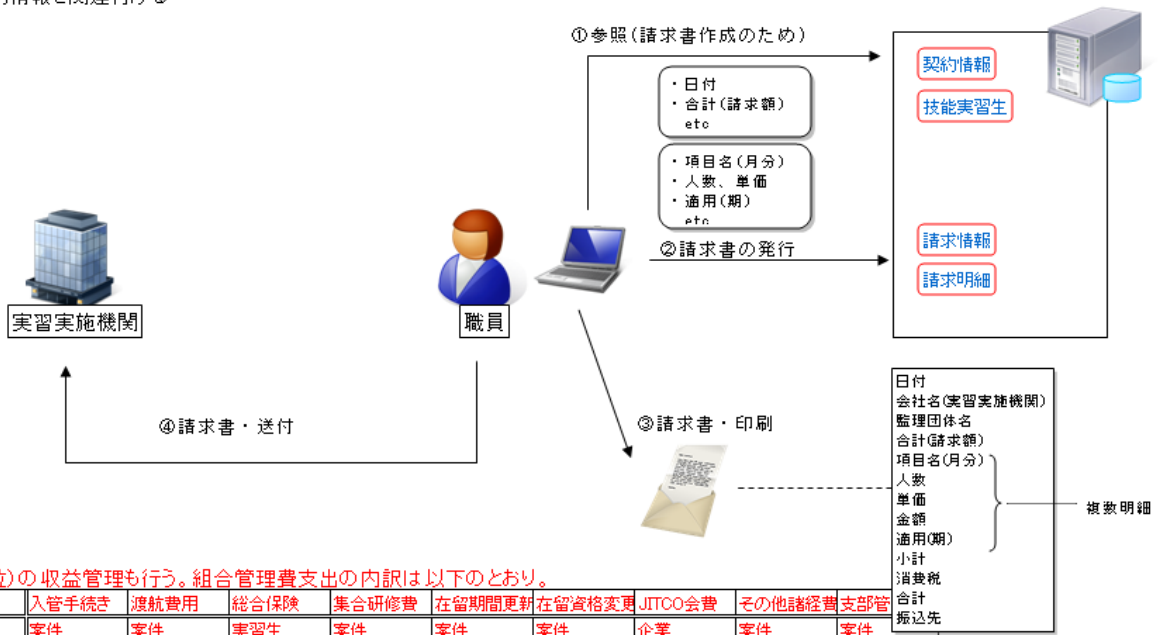
契約に対して、委託契約情報を登録する
委託契約情報には、支部を関連付ける



2. 入国後の作業

(1)実習実施機関への請求

実習実施機関に対して、請求情報を登録する
請求情報に対して、請求明細を登録する
請求明細には、契約情報を関連付ける



※ 企業毎(案件単位)の収益管理も行う。組合管理費支出の内訳は以下のとおり。

内訳	入管手続き	渡航費用	総合保険	集合研修費	在留期間更新	在留資格変更	JITCO会費	その他諸経費	支部管
単位	案件	案件	実習生	案件	案件	案件	企業	案件	案件



